

松くい虫被害抵抗性育種の現状

1 研究のねらい

アカマツ資源を将来にわたって安定的に育成するため、松くい虫被害抵抗性品種を育種し、その種苗を供給する。

2 研究方法と結果

平成5年度までに、県の採種園に植栽されているアカマツ精英樹 83 家系の種子から育てた苗木にマツノザイセンチュウを人工的に接種検定した結果、生存率 10%以下の系統がある一方で、生存率が 50%以上と抵抗性を示す家系があることが判明した。

これによって、成長・形質ともに優れた精英樹を利用した抵抗性品種の育種が可能であることが明らかになった。

3 成果の活用と今後の進め方

当面の対策として、現在県内に配布されているアカマツ種子は、総て上記の検定の結果抵抗性を示した家系（抵抗性候補精英樹）から採種している。

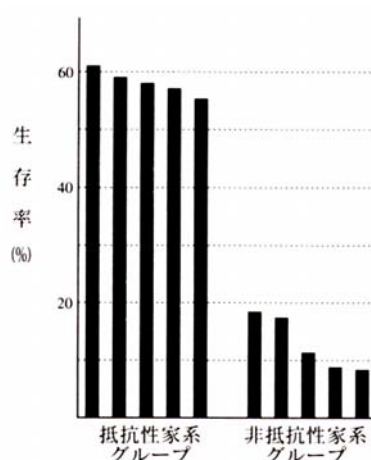
次期の対策として、抵抗性候補精英樹のみによる採種園を造成して種子を供給する計画となっており、このための接木苗を育成中である。

また、接種検定で生き残った苗による現地検定・選抜試験を行う予定である。

さらに、恒久的な対策として、抵抗性候補木間の人工交配と選抜によって抵抗性品種を作出し、これによって抵抗性品種採種園を造成する計画であり、一部人工交配に着手している。



接種検定の結果
(左：抵抗性強い 右：弱い)



接種検定の結果
(精英樹間の差が大きい)



抵抗性候補クローン間の人工交配

(担当 育種緑化部 上席専門研究員 細川 久藏)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536
岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>